

平成 30 年度 事業計画書

(平成 30 年 4 月 1 日から平成 31 年 3 月 31 日まで)

公益財団法人 成羽町美術振興財団

成羽美術館では、来年度に児島虎次郎没後 90 年、新美術館開館 25 年という記念すべき年を迎えます。またこの年には、隣接する成羽総合福祉センターが新装文化センターとして設立されて新しい文化の拠点となり、美術館を取り巻く環境は大きく変わろうとしています。

このような時に当たり、美術館は本年意欲的な事業を展開してまいります。

まず企画展覧会事業では、春に児島虎次郎顕彰のため地元企業や団体、個人が所蔵する未公開作品を中心とした児島虎次郎の展覧会、夏には多くの方に愛された俳優 高倉健を追悼し業績を振り返る高倉健展、また秋には写実を追求し独自の美に迫った画家 岸田劉生の特別展を開催します。美術教育普及面では成羽の貴重な資料である植物化石を材料に、学校教育とも連携しながら次代を担う児童生徒の育成に役立つ活動をしてまいります。また広報面では、新しく作成した安藤建築の解説パンフレットや英語・中国語版美術館案内パンフレットを活用し新たな顧客開拓に努めます。

美術館運営面では、学芸員人事異動後の新しい体制のもとでの人材の育成に努めるとともに、美術館スタッフの館外交流や研修への積極参加ならびに防災訓練や接遇サービス研修などを実施し館員のレベルアップを図ります。

<定款に定める事業（第 4 条関係）>

- (1) 児島虎次郎画伯の遺作を始めとする絵画、美術品及び化石の収集・保存及び公開並びにこれらに関する調査研究
- (2) 美術等に関する催しの開催
- (3) 美術等に関する情報収集、広報啓発活動、地域住民の美術文化活動の支援
- (4) 高梁市成羽美術館の維持・管理・運営の受託
- (5) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

定款第 4 条第 1 項第 1 号、2 号事業

1. 展覧会開催事業 芸術文化の振興を図るため、優れた美術品の鑑賞機会を提供する。

①「児島虎次郎 ～ふるさとに愛されて」

平成 30 年 4 月 28 日（土）～7 月 8 日（日）

2 階展示室・1 階展示室

児島虎次郎は倉敷 大原孫三郎の支援によりヨーロッパ、中国、朝鮮半島などで研鑽を積んだ。国内はもとより、主にパリのサロンで活躍したが、倉敷を活動拠点とし、生涯岡山の地を離れることはなかった。そんな児島虎次郎の遺作絵画の一部は、現在岡山の個人・団体の所有となり、大切にまもられ今も人々に愛されている。地元企業・団体・個人などの関係機関の協力のもと、これまで紹介される機会の少なかった児島虎次郎作品を展覧し、画業のより深い理解へと繋げる展覧会とする。

②「追悼特別展 高倉 健」

平成 30 年 7 月 27 日（金）～9 月 24 日（月・振）

2 階展示室・1 階展示室・オリエン特展示室

任侠映画で一時代を築き、晩年は最も出演が待ち望まれる俳優として、生涯で 205 本の映画に出演した高倉健。本展は、高倉健の映画俳優としての仕事を回顧し、あらためてその業績を顕彰しようとするものである。本展の最大の見どころは、出演作 205 本のすべてから抜粋した、高倉健出演場面の映像の紹介である。また、横尾忠則、森山大道による、高倉健をモチーフとした作品も展示する。あわせて、高倉健が所蔵していた台本や小道具、スチール写真、ポスターやプレスシートといった宣伝物など、貴重な資料類を一堂に展示し、時代とともに歩んだ稀代の映画俳優の足跡をたどる。

③「画家 岸田劉生の軌跡—油彩画、装丁画、水彩画などを中心に」

平成 30 年 10 月 6 日（土）～平成 31 年 1 月 14 日（月・祝）

2 階展示室・1 階展示室・オリエン特展示室

岸田劉生（1891－1929）は 38 年という短い生涯にもかかわらず、画家として極めて振幅の大きい道程をたどった。白馬会の洋画研究所で外光派の画風を学んだ初期、精緻な写実を追求し、「内なる美」の探求へと進んだ中期、一転して宋元画や初期肉筆浮世絵、南画などの東洋的な美に影響を受けた後期と、その足取りを振り返ることができる。本展覧会では《自画像》《麗子十六歳之像》《村娘之図》などをはじめとする数々の代表作に加え、娘 麗子が随所にちりばめられた装丁画も出品され、油彩、水彩、墨画、素描、版画作品などに関連資料を含めた 150 点により劉生芸術の全貌を紹介する。

④常設展 所蔵する美術品資料をそれぞれテーマを定めて系統的に紹介する。

2 階絵画展示室 児島虎次郎の画業紹介とテーマ展示など

1 階オリエン特展示室 児島コレクション（エジプト遺物を中心に）

2 階化石展示室 成羽地域などの動植物化石など

⑤次年度以降展覧会開催準備 予定企画の作家調査・関係機関との連絡・打合せ

・開館 25 周年記念「墨の色・心のかたち 篠田桃紅展」

・「今森光彦 自然と暮らす 切り紙の世界」展

・開館 25 周年記念「足立美術館名品選展」

2. 児島画伯の画業顕彰事業 児島虎次郎の画業への理解を深め、その顕彰を図る。

①児島虎次郎を偲ぶ絵画展

児島賞・渡辺賞の表彰とその他入賞・入選作品の展示を行う。美術活動に興味を持つきっかけ作りを目的として、市内小中学生を対象に絵画展を高梁市教育委員会と共に開催する。

作品募集・審査 平成 30 年 12 月実施予定

展示 平成 31 年 1 月 26 日（土）～2 月 17 日（日） 多目的展示室

授賞式 平成 31 年 2 月実施予定

②児島虎次郎没後 90 年・開館 25 周年記念事業（2019 年）への取り組み

- ・「児島虎次郎の生涯」DVD 製作委員会立ち上げ
- ・岡山文庫「高梁市成羽美術館」発刊への準備

3. 調査研究 収蔵品の整理・保管・作品保存、美術資料研究や関連情報の収集提供

①所蔵品資料のデータベース整備

児島虎次郎作品と化石資料のデータベースを整備し、広く活用を図る

②児島作品、オリエント関係資料、化石資料の調査研究、修復保存など関連情報の収集活動

4. 普及事業 企画展覧会のイベントや常設展示を活かした学校教育との連携事業を開催し芸術文化への興味理解を促す。

①「児島虎次郎 ～ふるさとに愛されて」展

ギャラリートーク 平成 30 年 4 月 28 日（土）11 時～

講師：児島慎太郎氏

記念講演会

平成 30 年 5 月 27 日（日）13 時 30 分～15 時 30 分

講師：児島塊太郎氏

「児島虎次郎の大作《奈良公園》を考える」

ミュージアムコンサート 平成 30 年 6 月 23 日（土）

出演：アンサンブル・ジャガー

吉田 秀氏（NHK 交響楽団首席コントラバス奏者）

②岸田劉生展 事業（案）

記念講演会

時期調整中

講師：谷藤史彦氏（ふくやま美術館特任研究員）

ワークショップ

時期調整中

講師：写実画家を検討中

ミュージアムコンサート 時期調整中

③地域の学校教育との連携及び協力

高梁市内の小中学校、高校をはじめ吉備国際大学、倉敷芸術科学大学、岡山県立大学、岡山理科大学、岡山大学などとの連携を深めた事業を推進

- ・児島虎次郎学習への協力（主に社会科、総合学習、美術）
- ・成羽化石の学習への協力（主に理科、総合学習）展示案内など
- ・グッズ開発に関する岡山県立大学デザイン学部との連携
- ・企画展覧会イベントへの協力

定款第 4 条第 1 項第 3 号事業

1. 新規広報・普及パンフレットの活用

①「安藤建築の魅力」パンフレットの活用

安藤忠雄設計の公立美術館である高梁市成羽美術館の魅力と見どころを写真と解説で紹介

②英語・中国語版美術館案内の活用

外国人観光客増加に対する広報強化策として活用を図る

2. DVD「児島虎次郎の生涯」製作準備

3. 岡山文庫「高梁市成羽美術館」発刊の準備

4. 情報収集、広報啓発活動の強化

①美術館支援スポンサー企業、団体の開拓

美術館を支援していただく企業や団体を開拓しさらに活発な広報活動を展開する

②高梁市図書館との更なる連携強化

図書館と連携して美術館の広報と普及を強化し、広範囲からの集客を図る

- ・デジタルサイネージでの PR
- ・展覧会チラシ、美術館案内パンフの配布

③隣接新文化センターとの連携の調整準備

④通常の広報活動

- ・インターネットによる情報発信を強化
- ・全国美術館会議、公益法人会議など館外との情報交換への参加

5. グループ活動作品展（場所 多目的展示室）

- | | |
|-------------------|----------------------------------|
| ①なりわ工芸品同好会作品展 | 平成 30 年 5 月 9 日（水）～5 月 20 日（日） |
| ②水墨南画教室作品展 | 平成 30 年 5 月 30 日（水）～6 月 10 日（日） |
| ③絵画グループ「ブロッサム」作品展 | 平成 30 年 11 月 7 日（水）～11 月 18 日（日） |
| ④書道作品展 | 平成 31 年 2 月 27 日（水）～3 月 10 日（日） |
| ⑤吹屋ベンガラ焼「炎の会」作陶展 | 平成 31 年 3 月 13 日（水）～3 月 24 日（日） |

定款第 4 条第 1 項第 4 号事業

1. 施設管理事業

- ①利用者にとって安全・安心で快適な環境を提供するために適切な管理保守委託をする。
- ②照明、空調設備、外周等の老朽化したものについては、改善計画を立て市と協議する。
- ③「成羽美術館の環境を守る会」と力を合わせ、美しい環境を維持する。
- ④公益法人制度に則り、適正な運営をする。

2. 美術館の建物、施設の点検、修繕については必要時期に速やかに市に連絡し協議する。

定款第 4 条第 1 項第 5 号事業

1. 防災訓練やスタッフの接客サービス研修などを定期的実施しお客様の安全と快適な鑑賞環境の保持に努める。
2. 喫茶のメニュー改善に努めお客様に快適にお過ごしいただく空間づくりを図る。
3. 検討課題として茨城県の板谷波山記念館との交流を検討する。

平成30年度正味財産増減予算書
平成30年4月1日から平成31年3月31日まで
公益財団法人成羽町美術振興財団

(単位:円)

	予算額	前年度 予算額	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益	27,000	166,000	-139,000
基本財産受取利息	27,000	166,000	-139,000
② 事業収益	20,541,000	20,318,000	223,000
入館料収入	13,431,000	11,708,000	1,723,000
ショップ売上収入	6,000,000	7,500,000	-1,500,000
喫茶売上収入	1,100,000	1,100,000	0
利用料収入	10,000	10,000	0
③ 受取委託料	47,500,000	31,496,000	16,004,000
高梁市指定管理委託料	47,500,000	29,000,000	18,500,000
高梁市イベント委託料	0	2,496,000	-2,496,000
④ 受取補助金収入等	0	13,204,000	-13,204,000
高梁市事業補助金	0	13,204,000	-13,204,000
⑤ 受取寄付金	62,000	1,801,000	-1,739,000
受取寄付金	1,000	756,000	-755,000
受取寄付金等振替額	61,000	1,045,000	-984,000
⑥ 雑収益	11,000	110,000	-99,000
受取利息	1,000	10,000	-9,000
雑収入	10,000	100,000	-90,000
経常収益計	68,141,000	67,095,000	1,046,000
(2) 経常費用			
① 事業費	65,458,370	64,763,090	695,280
役員報酬	3,672,000	2,440,800	1,231,200
給料手当	10,024,200	9,240,000	784,200
臨時雇用賃金	8,396,500	7,433,600	962,900
退職給付費用	608,000	300,000	308,000
福利厚生費	1,975,770	1,729,560	246,210
会議費	134,000	161,000	-27,000
交際費	30,000	30,000	0
旅費交通費	926,200	1,710,200	-784,000
通信運搬費	611,140	590,540	20,600
消耗什器備品費	217,000	271,600	-54,600
消耗品費	1,285,870	1,576,160	-290,290
修繕費	380,000	475,000	-95,000
印刷製本費	446,100	2,352,040	-1,905,940
光熱水料費	9,749,580	9,807,780	-58,200
燃料費	5,000	8,000	-3,000
賃借料及び使用料	417,510	281,130	136,380
租税公課	1,882,000	1,811,000	71,000
諸謝金	350,000	260,000	90,000
支払負担金	43,000	42,000	1,000
委託費	18,264,500	17,992,680	271,820
広告宣伝費	540,000	0	540,000
仕入費	5,500,000	6,250,000	-750,000

②管理費	2,682,630	2,331,910	350,720
役員報酬	408,000	271,200	136,800
給料手当	1,113,800	996,000	117,800
臨時雇用賃金	36,500	21,400	15,100
退職給付費用	152,000	75,000	77,000
福利厚生費	295,230	258,440	36,790
会議費	14,000	25,000	-11,000
交際費	30,000	30,000	0
旅費交通費	12,800	13,800	-1,000
通信運搬費	10,860	11,460	-600
消耗什器備品費	3,000	8,400	-5,400
消耗品費	8,130	9,840	-1,710
修繕費	20,000	25,000	-5,000
印刷製本費	6,900	12,960	-6,060
光熱水料費	300,420	302,220	-1,800
燃料費	0	0	0
賃借料及び使用料	11,490	6,870	4,620
租税公課	71,000	71,000	0
支払負担金	43,000	42,000	1,000
委託費	145,500	151,320	-5,820
經常費用計	68,141,000	67,095,000	1,046,000
当期經常増減額	0	0	0
2. 經常外増減の部			
(1) 經常外収益			
經常外収益計	0	0	0
(2) 經常外費用			
經常外費用計	0	0	0
当期經常外増減額	0	0	0
他会計振替額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	0	0	0
一般正味財産期首残高	101,209,980	100,405,372	804,608
一般正味財産期末残高	101,209,980	100,405,372	804,608
II 指定正味財産増減の部			
① 特定資産運用益	200	200	0
特定資産受取利息	200	200	0
② 一般正味財産への振替額	-61,000	-1,045,000	984,000
一般正味財産への振替額	-61,000	-1,045,000	984,000
当期指定正味財産増減額	-60,800	-1,044,800	984,000
指定正味財産期首残高	4,455,343	5,263,013	-807,670
指定正味財産期末残高	4,394,543	4,218,213	176,330
III 正味財産期末残高	105,604,523	104,623,585	980,938

平成30年度正味財産増減予算書内訳表
平成30年4月1日から平成31年3月31日まで
公益財団法人成羽町美術振興財団

(単位:円)

科目	公益目的事業1							収益事業1	法人会計	合計
	画業顕彰	展示事業	美術普及	調査研究	啓発事業	共通	計			
I 一般正味財産増減の部										
1. 経常増減の部										
(1) 経常収益										
① 基本財産運用益	0	0	0	0	0	0	0	0	27,000	27,000
基本財産受取利息									27,000	27,000
② 事業収益	0	13,060,000	0	0	0	381,000	13,441,000	7,100,000	0	20,541,000
入館料収入		13,060,000				371,000	13,431,000			13,431,000
ショップ売上収入							0	6,000,000		6,000,000
喫茶売上収入							0	1,100,000		1,100,000
利用料収入						10,000	10,000			10,000
③ 受取委託料	0	0	0	0	0	42,176,700	42,176,700	2,667,670	2,655,630	47,500,000
高梁市指定管理委託料						42,176,700	42,176,700	2,667,670	2,655,630	47,500,000
④ 受取寄付金	61,000	0	0	0	0	1,000	62,000	0	0	62,000
受取寄付金						1,000	1,000			1,000
受取寄付金等振替額	61,000						61,000			61,000
⑤ 雑収益	0	0	0	0	0	11,000	11,000	0	0	11,000
受取利息						1,000	1,000			1,000
雑収入						10,000	10,000			10,000
経常収益計	61,000	13,060,000	0	0	0	42,569,700	55,690,700	9,767,670	2,682,630	68,141,000
(2) 経常費用										
① 事業費										
役員報酬						3,672,000	3,672,000			3,672,000
給料手当						10,024,200	10,024,200			10,024,200
臨時雇用賃金		3,369,000	70,000			2,971,200	6,410,200	1,986,300		8,396,500
退職給付費用						608,000	608,000			608,000
福利厚生費						1,589,700	1,589,700	386,070		1,975,770
会議費	4,000	120,000	10,000				134,000			134,000
交際費						30,000	30,000			30,000
旅費交通費	5,000	520,000	100,000	250,000		51,200	926,200			926,200
通信運搬費		200,000	10,000		30,000	325,800	565,800	45,340		611,140
消耗什器備品費			120,000			90,000	210,000	7,000		217,000
消耗品費	111,000	818,000		24,000		243,900	1,196,900	88,970		1,285,870
修繕費						320,000	320,000	60,000		380,000
印刷製本費			50,000		173,000	207,000	430,000	16,100		446,100
光熱水料費						9,012,600	9,012,600	736,980		9,749,580
燃料費						5,000	5,000			5,000
賃借料及び使用料		36,000				344,700	380,700	36,810		417,510
租税公課						1,317,400	1,317,400	564,600		1,882,000
諸謝金	30,000	270,000	50,000				350,000			350,000
支払負担金						43,000	43,000			43,000
委託費		13,560,000				4,365,000	17,925,000	339,500		18,264,500
広告宣伝費		540,000					540,000			540,000
仕入費							0	5,500,000		5,500,000
事業費計	150,000	19,433,000	410,000	274,000	203,000	35,220,700	55,690,700	9,767,670	2,682,630	65,458,370
② 管理費										
役員報酬									408,000	408,000
給料手当									1,113,800	1,113,800
臨時雇用賃金									36,500	36,500
退職給付費用									152,000	152,000
福利厚生費									295,230	295,230
会議費									14,000	14,000
交際費									30,000	30,000
旅費交通費									12,800	12,800
通信運搬費									10,860	10,860
消耗什器備品費									3,000	3,000
消耗品費									8,130	8,130
修繕費									20,000	20,000
印刷製本費									6,900	6,900
光熱水料費									300,420	300,420
燃料費									0	0
賃借料及び使用料									11,490	11,490
租税公課									71,000	71,000
支払負担金									43,000	43,000
委託料									145,500	145,500
管理費計									2,682,630	2,682,630
経常費用計	150,000	19,433,000	410,000	274,000	203,000	35,220,700	55,690,700	9,767,670	2,682,630	68,141,000
当期経常増減額	-89,000	-6,373,000	-410,000	-274,000	-203,000	7,349,000	0	0	0	0
2. 経常外増減の部										
(1) 経常外収益										
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用										
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
他会計振替額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	-89,000	-6,373,000	-410,000	-274,000	-203,000	7,349,000	0	0	0	0
一般正味財産期首残高	-462,722	-957,260	-281,313	-402,160	-868,385	1,199,046	-1,772,794	2,475,983	100,506,791	101,209,980
一般正味財産期末残高	-551,722	-7,330,260	-691,313	-676,160	-1,071,385	8,548,046	-1,772,794	2,475,983	100,506,791	101,209,980
II 指定正味財産増減の部										
① 特定資産運用益	100	100	0	0	0	0	200	0	0	200
特定資産受取利息	100	100					200			200
② 一般正味財産への振替額	-61,000	0	0	0	0	0	-61,000	0	0	-61,000
一般正味財産への振替額	-61,000						-61,000			-61,000
当期指定正味財産増減額	-60,900	100	0	0	0	0	-60,800	0	0	-60,800
指定正味財産期首残高	2,334,015	2,121,328	0	0	0	0	4,455,343	0	0	4,455,343
指定正味財産期末残高	2,273,115	2,121,428	0	0	0	0	4,394,543	0	0	4,394,543
III 正味財産期末残高	1,721,393	-5,208,832	-691,313	-676,160	-1,071,385	8,548,046	2,621,749	2,475,983	100,506,791	105,604,523